

高南中学校 CS だより

(杉並区立高南中学校 学校運営協議会広報紙 令和5年3月発行)

高南中の学校運営協議会



校長 立花 忠司

月1回程度開催される学校運営協議会は、予定している時間を超過するほど、議論が白熱しています。様々な立場の委員の皆様から多様な意見を聴くことができたことは、校長として大変有り難く思います。

そして今年度、委員の皆様の高南中への熱い思いを感じながら、皆様と共に学校経営を行うことができたことに感謝いたします。

いつも、生徒のことを第一に考えどのような教育が必要なのかを考えていただいています。そして、学校支援本部やPTA、地域の皆様とも連携しながら、高南中の教育活動を支えていただいています。その結果、今年度は学校生活における様々な場面で生徒の活躍の場面が増え、自己の可能性に挑戦する生徒が増えています。これからも、高南中のさらなる発展のために、ご協力をいただければ幸いです。また、保護者・地域の皆様にも、学校運営協議会を参観いただき、ご意見をお寄せいただければと思います。

おおらかな生徒達



高南中学校学校運営協議会会長
堀内 一男

始業5分前になると、東高円寺駅前から学校に向かって猛ダッシュする高南中生が多い。3年生が走ると1・2年生も走る。「何だ？これは！」と思いながらも、高南中生の心の中が見えて嬉しいし、高南中学校の「学校運営協議会」は、指定を受け4年半になる。コロナ禍下の3年間は、学校の様子を見守り、「大丈夫かな？」と心配する姿勢が前面に出たが、今年度には「配慮し、工夫して出来ることは実現しよう」とする学校の積極的な姿勢を応援する立場に変わってきたと思っている。

特に、今年度は、先生方との懇談、交流の場が多くなり、学校支援本部「高南会」の学校援助の場も多く、多彩となり、学校との関係も強くなったのではないかと考えている。



運動会



合唱祭

「勇往龍進」

<クレッシェンドー高みを目指して>

どうぞよろしく!

新メンバー紹介



大橋 哲
(学校運営協議会委員)



佐藤 容子
(PTA 会長)

今年度の生徒たちが定めた「運動会」と「合唱祭」のスローガンです。「高みを見つめながら、徐々に努力を続けようよ」の心意気が伝わってきます。私達「学校運営協議会」も、生徒たちと同じ思いを持って9回の協議会と2回の行事参観に臨みました。



◆◆◆◆ 活躍した高南中生 ◆◆◆◆

校長 立花 忠司

今年度の高南中学校のめざす学校像の1つとして、「一人ひとりの生徒が自らのよさを発揮し、活躍できる学校」を掲げてきました。コロナ禍での制約を若干設けたものの、概ね例年に近い教育活動を行うことができました。特に学校行事である運動会や合唱祭、校外学習、宿泊行事のフレンドシップスクールや修学旅行、スキー移動教室、地域行事の高南祭などでは、生徒が組織する実行委員会を中心に、主体的に事前の準備と本番の運営に取り組みました。そして、すべての行事を成功させることができました。生徒からは、「これらの行事を通して、他の人と協力して物事を成し遂げることの大切さを学べた。」との声が多く聞かれました。まさに「行事は人を育てる」の通り、生徒は大きく成長しました。さらに部活動等の課外活動における生徒の体育的・文化的な活躍も多く、日ごろの努力の成果が発揮されました。

これからも、生徒が自らの可能性を見つけ、伸ばしていけるような教育活動を展開していきたいと思っています。

◆◆◆◆ 生徒たちの力を信じる ◆◆◆◆

大橋 哲 (学校運営協議会委員)

学校運営協議会では各種の教育調査の結果を見て、その問題点などを議論してきました。全国学力・学習状況調査では、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。」という回答が全国の平均と比較して高く、東京都の学力向上を図るための調査では、「自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。」という回答が東京都全体の平均と比較して高くなっています。

3年ぶりに開催された高南祭においても、生徒たちが自ら企画し、実行する力や小さな子どもたちに対する細やかな配慮が示されていました。高南中の生徒たちの力を信じ、さらに成長させていくことが学校や学校運営協議会の役割だと改めて感じました。調査結果報告は「高南だより 10月号」に掲載されていますので、保護者の皆様もその内容を見ていただき、ご家庭でも生徒たちの声に耳を傾け、学校での生徒たちの前向きな姿勢をその目で見ていただければと思います。

◆◆◆ コロナ禍下の 「高南中学校」をみつめて ◆◆◆

江口 幸子（梅里一丁目町会会長）

コロナ禍で基本的な感染対策は日常の習慣になった三年間。中学生活の大半をコロナに振り回されてきたと思います。感染防止対策という新たな責務が加わったことで教職員の大変さも感じます。

感染防止のため多くの制限が加わった学校生活は子供たちにどんな影響を及ぼしたのでしょうか。調査によると半数が「なにもしたくなくなる無気力」な気持ちになったといいます。学校生活の変化は「孤独感」や人間関係を築くのが難しくなったと思います。また反面、子供たちの意識が変わり、勉強に力を入れる子どもも増え、自立心がめばえ甘えが無くなったような気がします。

令和4年度は学校行事の運動会、校外学習、修学旅行、合唱祭などが実施され、子供たちの笑顔が見られました。

運動会では笑顔と協力し合う子供たち、上級生が下級生を支え励ます姿に感動すら覚えました。学校を訪問すると子供たちの明るい挨拶と礼儀正しい姿に安心し、どんな境遇でも逞しく成長してほしいと願っています。



バスケット部
&
ソフトテニス部



南中ソーラン



運動会



◆◆◆ 今後の部活動に思うこと ◆◆◆

小林 三津子（利用者団体協議会会長）

高南中利用団体協議会会長を引き受けて20年。学校と地域利用者との生涯スポーツ、文化活動の連帯を図りながら体育館、校庭、音楽室を利用させていただいている中で、様々な生徒たちの活動を見てきました。今年の合唱祭は大きなホールで開催、1年生は少ない人数だったが初々しく、2年生は団結力のある歌声で、3年生は舞台上立つ姿もお手本となる合唱の楽しさがあふれていてさすがでした。

また、杉並区の取り組みで「部活動が地域移行するということ」で高円寺学園がモデル事業としてスタートしていますが、高南中学校としてはどうなっていくのでしょうか。本格的な人口減少時代に次代を担う子供たちが健やかで心豊かに成長を遂げていくためには、勉強は勿論のこと部活動をする中で生徒と教師、生徒同士のコミュニケーションによって皆で力を合わせそれを達成したときの喜びや感動は得難いものです。今の子供たちはどの様に考えているのだろうか？ その取り組みについては今すぐ決められる事ではないが、教師、保護者と共に生徒の多様なニーズに合わせた部活動になることを期待しています。



ゆめ音楽祭

◆◆◆ 先生方と保護者、 地域の方の思い ◆◆◆

佐藤 容子 (PTA 会長)

PTA の代表として、様々な会議に出席する機会のあった一年でした。その中の一つである学校運営協議会では、高南中の生徒、学校にかかわる人の思いを強く感じる機会となりました。

8月に学年別教員との懇談会がありました。高南中に通わせている保護者の一人である私にとって土曜授業だけでは見えない子供たちの様子、頑張り、また問題点聞くことの出来る貴重な時間でした。会議に参加している皆が子供たちがどうすれば学習面や生活面の向上につながるか真剣に話し合うことが出来、先生方のあふれる思いも感じられました。

PTA でも何かこのような内容を保護者と共有することができないかと考えさせられ、今後の活動につながるきっかけをいただきました。



CS 会議



合唱祭

◆◆◆◆ 地域の力となる 道徳教育を ◆◆◆◆

志達 和雄 (和田三丁目東町会会長)

高南中の在校生は 15 才で卒業して、3 年後には「新成人」となります。この仕組みを、いかに有効に生かせるかは、本校学校区地域の重要課題です。地域の将来を担う高南中学生に、在学中から関わってほしい地域活動は、母校が地下直下型地震発災時に担う「震災救済所」の開設と運営への協力支援です。際立って困難な支援業務は、厳格な個人情報保護が要求される「要配慮者」の避難支援です。要配慮者の個人情報は厳正な(秘)扱いなのですが、避難支援者が受け持つ当人の必要最小限の配慮事項を承知していないと、生命に拘わるリスクを伴うからです。高南中在校生の最大の強みは、何時に発災しても、必ず地域内に居てくれることです。あらかじめ支援すべき本人と必要配慮事項も承知していれば、高い成功率が期待できます。2・3 年生の道徳の授業で個人情報の扱い方を学び対象者の情報の事前把握が可能な資格を習得させてほしいと願っています。

レスキュー隊



◆◆◆◆ 学校支援本部 「高南会」の役割 ◆◆◆◆

豊川 充子（学校支援本部高南会本部長）

学校の教育活動を支援するために設置された、地域の志のある人たちのボランティアによる組織です。今年度の高南会のメンバーは、学校・地域コーディネーターを含む25名で活動をしています。

大きな役割としては2つに分けられます。①教員の負担軽減、②生徒たちの学習支援。教員の負担軽減をするため、年度当初、先生方に年間の教育活動の確認や要望などをお聞きし、前年度の高南会の活動を報告しながら、今年度の事業に結びつけています。情報交換やその都度先生方と生徒たちの様子を話し合いながら、最新の情報を共有することで先生方の手の回らないことなどを支援できるように努めています。生徒たちの学習支援は、先生方と話し合った事柄を反映させながら、一人ひとりに丁寧に学習面をサポートしています。多くの生徒に参加してもらえよう、募集時に詳しくお知らせしたり、外部講師や学生ボランティアを中心に、生徒たちが楽しく学べるよう工夫しながら進めています。



土曜授業



高南祭



駅伝

◆◆◆◆ 高南中への期待 ◆◆◆◆

木村 房代（学校支援本部高南会）

今年度の高南中CSは、新任の立花校長を迎え和やかな雰囲気の中、活動が始まりました。立花校長は4年前には高南中に副校長としてCSを支えていただき、今年度は校長として、高南中の生徒の実りある未来を委員と共に考え、学校としてできる所は常に前向きに実行しています。高南中は若い先生、若々しい先生が多くて集団としては活発にコミュニケーションをとり、話し合っている姿をよく目にします。職員が快活であることは学校全体が明るくなるし、何でも受け止めてもらえる安心感が生まれます。これからの高南中に大きく期待しています。委員と学校をつなぐ事務局は副校長の若尾先生、どんなことも受け止めて解決に導いてくれる大きな存在で、いま高南中は新しい情報開示の方向に歩み始めており、CS委員も地域も保護者の皆様もみんなで見守っていきましょう。

◆◆ 「高南祭」を再開催できた喜び ◆◆

宮内 康子（青少年委員）

「青春ってすごく密なので」。夏の甲子園優勝高校の監督は、コロナ禍の青少年たちの諸々の気持ちや現状の日々を、涙を流しながら話しました。リアルタイムで聴いていた私も、もらい泣き…高南中生の「密を回避」しなければならなかった3年間を、思い返しました。そんな中でも、今年度は立候補した生徒実行委員を中心に、「高南祭」（子ども地域促進事業）を開催できたことは、大変意味があったと感じています。当日の来場者制限について、地域の方々や低学年児童との交流という点に課題が残りましたが、直前まで準備をする生徒たちの様子は、たわいのない会話にも互いを感じ合う、正に「密な青春」の時間でした。

この春卒業する3年生には、卒業後も「高南祭」経験者として、サポーター役で継続して関わられるような新しい計画を、来年度には取り入れていきたいと思っています。事業を生徒と協働できて、私自身幸せな時間でした。

◆◆◆◆ 勉強・友達・先生 ◆◆◆◆

堀内 一男（和田三丁目西町会会長）

今から 70 年前に高南中を卒業し、学校の近くで生活しながら教師の道を選び、常に高南中生に関心を抱き、今日に至っている。時代によって、高南中への印象は様々であるが、ぎすぎすした雰囲気無く、保護者達の協力体制が強く、それに応える先生方の心意気を常に感じ続けてきた。今年度の 12 月、第 6 回 CS 委員会で「全国・東京都・杉並区教育調査」結果概況の検討を行った。特に 3 年生の調査教科国語・数学・理科を見ると、高南中は全国・東京の平均を上回り、学力がしっかり身につけているだけではなく、「友達と協力したり自分と違う意見について考えることが楽しい」「地域や社会を良くするために何が大切であるかを考えることがある」と答えている。これらは、教師が生徒一人ひとりの状況を良く理解し、生徒が分かり興味を持つ指導を心がけていると共に、教師集団の意思疎通が豊かで、生徒の居場所づくりに、本気に取り組んでいる成果といえよう。

◆◆◆◆ 小学生部活動体験 ◆◆◆◆

和田 智美（学校支援本部高南会）

コロナ禍で昨年、一昨年は行われなかった「小学生部活動体験」、今年度は 8 月第 1 週を使い 3 年ぶりに行うことができました。日頃から小中連携の交流はありますが、長時間小学生と高南中生徒が直接かかわる体験としては、小学生のみならず、中学生においても、教えることの難しさや年下への配慮など、とても貴重な体験の機会となっています。初めは緊張していた小学生も中学生の優しい対応で、終わるころにはのびのびと部活動に馴染み、体験後小学生からは「凄く楽しかった！〇〇部オススメ！」、生徒からは「小学生メッチャかわいい！」と、普段では見られない子供たちの一面を見ることができました。応援に来た高校生にも卒業しても母校と繋がっている安心感や先生との信頼関係も伺え知ることができました。杉十小塩練校長から、もっと小学生が参加できる仕組みを考えたいとご意向を伺い、生徒たちの自主性・主体性を育む取り組みを支える役割を CS 委員としてさらに充実させたいと思いました。

令和 4 年度 学校運営協議会の主な協議内容と活動

回	開催日	主な協議事項と活動内容
1	4 月 21 日(木)	新委員、新任教員の紹介。今年度の学校運営協議会の確認。
参	5 月 28 日(土)	運動会の参観（保護者の学年別参観が見事）。生徒の全力躍動に拍手。
2	6 月 25 日(土)	授業参観、高南中への期待と要望。修学旅行のメール配信に拍手。
3	7 月 15 日(金)	1 学期の学校状況（落ち着いている生徒）土曜英語への高い関心。
4	8 月 26 日(金)	学年別 CS 委員と教師の懇談。英検・数検への参加者と高い向上心。
5	10 月 8 日(土)	道徳授業の参観。自分の考えを積極的に述べ合う生徒達に拍手。
参	11 月 4 日(金)	合唱祭参観（杉並公会堂）大きな舞台を保護者と同時に参観。
6	12 月 12 日(月)	学習調査・体力調査を巡って。生活指導上の諸課題について。
7	1 月 27 日(月)	順調に実施できた今年度の全学校行事。CS だよりの発行について。
8	3 月 3 日(金)	学校評価アンケートの分析と次年度の教育課程の承認。
9	3 月 20 日(月)	今年度学校運営協議会の反省と来年度の日程・検討事項について。

編集後記 今回は委員の皆さんからテーマを設けず自由に、高南中への思いを書いていただきました。それぞれが被ることなく広い視点で高南中への熱い思いを語っています。高南中の生徒たちが地域の中で見守られて健やかに成長して未来を担う人に育ってほしいと思います。

木村 房代（学校支援本部高南会）